

16回目のチャリティーコンサートも多くのファンがクラシックを楽しんだ(旭堂楽器店サンホール)



チャリティー演奏16回目

地域福祉のためにと、二年前から入場料全額を京都新聞社会福祉事業団に届けているチャリティーコンサートが二十一日、中京区寺町通夷川上ル、旭堂楽器店で開かれた。

同店の多田裕昭社長(三五)が「クラシック音楽を楽しんでもらいながら社会貢献をお願いできれば」と、二カ月ごとに開き、寄託総額は百二十万円を超えた。今年を締めくくる十六回目は声楽の小松優子さん、クラリネットの福本梢さんらがシューベルト「野ばら」などをファン八十人に披露した。次回は一月十六日。